

第1学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術1(日本文教出版)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 主題(自分の表したいこと)をもって制作に取り組みましょう。 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 作品について感じたことを友達とじっくり話し合ひましょう。 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 いろいろなものをよく見ましょう。また、いつも見ているもの、身近なものでも、見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ということをしてみましょう。

4 主な題材・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術との出会い <p>○鑑賞との出会い（鑑賞）</p> <p>見方や感じ方を広げよう</p> <p>○見つめると見えてくるもの（絵画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆で描く／水彩で描く ・色彩の基本・仕組み <p>○なぜか気になる情景（絵画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠近感を表す <p>○文字っておもしろい（デザイン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の基本 <p>○期末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、1年生で学ぶことや、3年間の学習の見通しをもつ。 <p>形や色彩、模様、材料や場所に着目し、原始美術の造形的なよさや美しさ、当時の人々の願いや作者の意図と工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。</p> <p>身近なものや愛着のあるものを見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本の形や特徴を捉えて描き、明暗・立体感を表現する。（技能） ・色相環など、色の基本や仕組みを理解する。（知識） ・主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。（思・判・表） ・鉛筆や絵の具の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。（思・判・表） ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。（主体的に学習に取り組む態度） <ul style="list-style-type: none"> ・見慣れた情景の中で気になる場所やものを見つけ、感じ取った形や色彩の特徴や場所のイメージから主題を生み出す。（思・判・表） ・遠近法の表し方を理解し、主題を基に、構図などを考えるなどして構想を練る。 ・水彩絵の具の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表す。（技能） ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。（主体的に学習に取り組む態度） <ul style="list-style-type: none"> ・レタリングの基本となる明朝体やゴシック体の描き方を理解する。（知識） ・制作の順序を考えながら見通しを持って表す。（技能） ・身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。（思・判・表）
2 学期	<p>○暮らしに息づく土の造形（使いたくなる焼き物をつくる）</p> <p>○印象に残るシンボルマーク（デザイン）</p> <p>○期末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で使いたくなる焼き物を陶土で制作する。（思・判・表）（技能） ・陶土塑像の基本技術や「立体的」とはどういうことであるのかを知る。（知識） ・造形や工芸に関する基礎的な知識や技法について学ぶ。（知識） <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容やイメージを基に、象徴するものや形や色彩の効果を考え、材料や用具などを工夫してマークをデザインする。（思・判・表） ・具体物や文字などの色や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解する。（知識） ・制作の順序などを考えながら見通しを持って表す。（技能） ・伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練る。（思・判・表） ・作品を鑑賞して感じたことや考えたことについて、友達と意見を述べ合う。（主体的に学習に取り組む態度）

3 学 期	<p>○広がる模様の世界 (デザイン)</p> <p>○墨と水の出会い (絵画)</p> <p>○学年末テスト</p>	<p>目的や条件などを基に、自然物や人工物などの形や色彩の特徴を捉えて、構成を工夫してデザインする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴を基によさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解する。(知識) ・目的や条件を基に、自然物や人工物などの形や色彩の特徴の美しさから主題を生み出す。(思・判・表) ・スケッチなどにより形や色彩の特徴を捉え、単純化や強調をするなどして構成を考える。(思・判・表) ・効果を考えながら彩色する。(技能) ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について考えを深める。(主体的に学習に取り組む態度) <p>水の量や筆の動かし方、線の勢いなどを試しながら主題を生み出し、工夫して表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・墨の濃淡や筆の線の勢いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、墨による表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解する。(知識) ・墨や筆の生かし方を身に付け、意図に応じて工夫して表す (技能) ・全体と部分との関係などを考え、墨による表現の効果を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。(思・判・表) ・意図に応じて筆使いや水加減を工夫して表したりする表現の学習活動に取り組んでいる。(主体的に学習に取り組む態度)
-------------	---	--